

令和4年度 事業報告

自 令和4年 4月 1日
至 平成5年 3月31日

社会福祉法人 名古屋市守山区社会福祉協議会

目 次

主な活動及び事業

1	法人運営	1
2	広報・啓発活動	2
3	「第4次守山区地域福祉活動計画」の推進	3
4	地域福祉活動	6
5	ボランティア給食サービス事業	13
6	ボランティア活動	15
7	重層的支援体制整備事業	18
8	在宅福祉関係事業	19
9	生活福祉資金貸付事業	25
10	心配ごと相談事業	26
11	在宅サービスセンターの運営	26
12	児童館・福祉会館の管理運営	27
13	共同募金運動への協力	30

1 法人運営

理事会、評議員会等

1 理事会

開催回	開催月日	会 場	主 な 議 事 内 容
8 3	令和4年6月8日（水）	研修室	・ 令和3年度事業報告 ・ 令和3年度決算 ・ 副会長の選定 ・ 理事候補者及び監事候補者の推薦の提案 ・ 評議員候補者の推薦の提案 ・ 諸規程の一部改正 ・ 重層の支援体制整備事業業務委託契約にかかる公募型プロポーザルへの応募並びにコンソーシアム協定の締結 ・ 第63回・第64回評議員会の招集
8 4	令和4年12月8日（木）	研修室	・ 令和4年度資金収支補正予算 ・ 諸規程の一部改正 ・ 理事候補者の推薦の提案 ・ 評議員候補者の推薦の提案 ・ 第5次守山区地域福祉活動計画の策定 ・ 第65回評議員会の招集
8 5	令和5年3月20日（月）	区役所講 堂	・ 令和4年度資金収支補正予算 ・ 令和5年度事業計画 ・ 令和5年度資金収支予算 ・ 諸規程の一部改正 ・ 市高齢者はつらつ長寿推進事業の契約の締結 ・ 役員等賠償責任保険契約への加入 ・ 第66回評議員会の招集

2 評議員会

開催回	開催月日	会 場	主 な 議 事 内 容
6 3	令和4年6月23日（木）	区役所講 堂	・ 令和3年度事業報告 ・ 令和3年度決算 ・ 役員及び監事の選任
6 4	令和4年12月23日（金）	区役所講 堂	・ 令和4年度資金収支補正予算 ・ 理事の選任 ・ 第5次守山区地域福祉活動計画の策定
6 5	令和5年3月20日（月）	区役所講 堂	・ 令和4年度資金収支補正予算 ・ 令和5年度事業計画 ・ 令和5年度資金収支予算

3 評議員選任・解任委員会

開催回	開催月日	会 場	主 な 議 事 内 容
8	令和4年6月9日（木）	相談室	・ 新評議員8名の選任
9	令和4年12月28日（水）	相談室	・ 新評議員6名の選任

4 監事監査

事項	開催月日 出席状況	会 場	主 な 議 事 内 容
監事 監査	令和4年6月3日（金） ・ 監事1名	社会福祉法人愛知 玉葉会常務理事室	・ 事業報告等の監査 （理事の職務の遂行に関する監査） ・ 計算関係書類及び財産目録の監査

2 広報・啓発活動

1 福祉情報紙「社協だより」の発行

区内の福祉情報や本会の活動内容等を掲載した
広報紙を、年2回（秋号9月、春号2月）発行し、
区内全域に配布しました。

【発行実績】

vol. 91（令和4年9月） 70,000部
vol. 92（令和5年2月） 70,000部



広報紙「社協だより」

2 「福祉情報設置店」の設置・推進

喫茶店や郵便局などの身近な場所で、区民の皆様に
役立つ福祉情報が入手できる福祉情報設置店の設置を
推進しました。「設置店サポーター」と呼ばれるボラン
ティアが、定期的に設置店へ情報誌等をお届けしまし
た。

【設置店】 61か所

【設置店サポーター】 22名



福祉情報の設置

3 「ホームページ」の運営

本会の取り組みや、最新の福祉情報を本会
ホームページに掲載し、区民の皆様等へ情報
を発信いたしました。

【アクセス件数】

66,057件（月平均5,505件）

* 小数点以下四捨五入



守山区社会福祉協議会ホームページ

3 「第4次守山区地域福祉活動計画」の推進

誰もが安心して暮らせる“福祉のまち守山”を目指し、地域住民やボランティア、福祉関係機関・団体、福祉サービス事業者や行政などの多様な機関が連携・協働した取り組み等を計画的に行っており、令和4年度は計画4年目の年となりました。
(計画期間：令和元年度～令和5年度)

1 会議等開催状況

(1) 推進委員会

開催日：令和4年7月29日（金）

内 容：各プロジェクトチームの進捗状況の共有、意見交換

(2) プロジェクトチーム（※）

※計画事業について、実施に向けた具体策の検討や事業を実施するグループ

	プロジェクト会議開催日					
しごとづくりPT(16名)	5/27	7/26	9/26	1/23	3/27	
子どもの活躍場PT(6名)	4/22	7/15（書面開催）	10/5（審査会含む）	2/22（書面開催）		
健康づくりPT(10名)	5/27	7/13	9/12	11/18	1/16	3/15
つながりづくりPT(16名)	4/13	6/15	7/21	8/22	9/28	

<しごとづくりプロジェクトチーム>

年齢や障がいの有無などに関係なく、誰もが特技や技能などを発揮し、活躍できる場を創設し、社会参加や生きがいをづくりを目指す

①地域の人が集える居場所づくり

- *「②緑地資源を活用した多世代交流活動」と連携した居場所づくりを実施
- ・ライ麦オープンスペース（17回 延べ217名参加）

②緑地資源を活用した多世代交流

- *多世代協働の「ライ麦ストロー&ヒンメリづくり」及び「リースづくり」実施
- ・「ハンドクラフトサポーター養成講座」15名参加
- ・小幡緑地「クリスマスリースを作ろう!!」、ふれあい・いきいきサロンへハンドクラフトサポーター出張



しごとづくりプロジェクト会議



ライ麦オープンスペース



ラジオ出演



ヒンメリづくり体験



サロンでヒンメリづくり



麦干しのご協力

<子どもの活躍場づくりプロジェクトチーム>

子どもたちが主役となり企画・実施するさまざまな体験をとおり、社会性・自主性を養いながら、心身の成長を目指す

① 子どもから発信する地域福祉活動

＊18歳以下を対象とした「第2回 手づくりえほん作品」募集を行い、活動計画賞2作品を選出しました。

入賞作品の展示会を実施し、「えほん読み聞かせ動画」を作成 YouTube・Instagramへ投稿、作品は製本し令和5年度にかけて広報活動や2次活用の展開を予定しています。

展示先ではご意見箱を設置。「素敵な作品をありがとう」や「勇気をもらいました」などのご意見を頂きました。

また、昨年度、優秀作品になりました「あなたはなんの金メダル？」の2次活用で、得意なことや好きなことを書いていただく金メダルのクラフトを作成していただく機会を、「守山にここ福祉マルシェ」や「わやくちゃサミット」にて設けました。



わやくちゃサミットでの様子



表彰の様子



絵本作品

② 子どもが担う地域活動

＊「学区防災訓練等で子どもが主体的に活動する場」や、学習支援の「子ども寺子屋」を引き続き検討しました。

<健康づくりプロジェクトチーム>

万人のニーズである“健康”をツールとしたプロジェクトをとおして、区民の健康維持・健康増進を図るとともに、新たな層への福祉への関わりを推進する

① 誰もが楽しめる健康づくり

＊「誰でも参加できるなんでもウォークラリー」と題し、歩き・車いす・バーチャル等、どんな形でも参加できるウォークラリー第2・3弾を開催。

第3弾に向けて、初めての試みとして守山元気まつり内でlive配信を行いました。

第2・3弾ともに、それぞれ上位3名に景品を贈呈しました。



「誰でも参加できるなんでもウォークラリー」チラシ



Live 配信の様子



掲示板部門1位の方の表彰

② 種から育む健康な食生活

＊「じゃがいもを作って地域貢献しよう！」をテーマに「守山区じゃがいもプロジェクト」を実施。

じゃがいも栽培の成長過程を掲示板・Instagramで共有。収穫物は自分たちで調理をしたり、地域の子ども食堂等へ寄付をしていただく仕組み。

令和4年度は、初めての試みとなる「じゃがいも交流会」を開催。栽培方法についてのミニ講話の他、管理栄養士による栄養や調理方法の紹介、じゃがいもに関する本の朗読や、参加者へ種芋のプレゼントなどを行いました。交流会をきっかけに守山区社協を知った方がご自身の生活の不安を話されたので、いきいき支援センターへつなげました。



「誰でも参加できるじゃがいもプロジェクト」のチラシ



子ども食堂へ寄付のじゃがいも入りカレー



じゃがいも交流会の様子

<つながりづくりプロジェクトチーム>

守山区の福祉情報をより多様な区民に届けるための広報戦略を検討するとともに、学びの場を提供しながら区民の関心を広げ、様々な情報を通して地域の中で皆がつながるきっかけづくりを目指す

①多様な層に伝える広報の実施

＊本会広報紙「社協だより」の見直しを行いました。

- ・各コーナーの目的の明確化
- ・紙ベースのものを読む層へ届ける情報の掲載
- ・文字、写真を大きくする
- ・記事タイトルの工夫
- ・読者参加コーナー、アンケートの検討
- ・発行タイミングの柔軟化
- ・設置店サポーター会議での読んでもらうためのアイディア出し

②福祉学習を通したつながりづくり

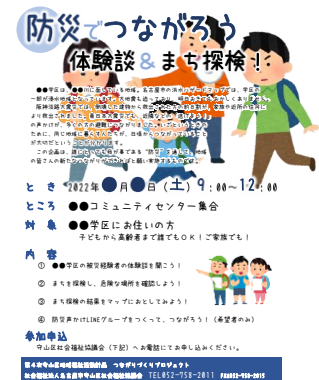
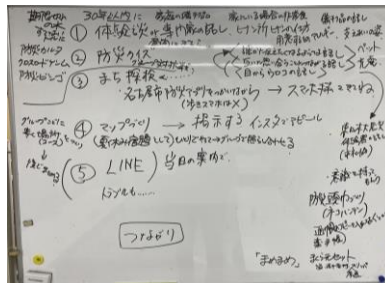
＊ちょっといいお話し会「白い杖を握って歩う！～ロシア人留学生の夢とホンネトーク～」については、諸般の事情により延期しています。

＊災害（防災）を通したつながりづくりの検討

- ・「防災でつながろう～体験談&まち探検～」を、実施学区との調整を含めて継続して検討します。



つながりづくり
プロジェクト会議の様子



企画中の防災を
通したつながり
づくり

4 地域福祉活動

1 学区地域福祉推進協議会（推進協）への支援

各小学校単位に設置された地域福祉活動の推進組織である「学区地域福祉推進協議会（推進協）」の活動について、本会の学区担当職員等が、コロナ禍の影響や学区の特色や実状を踏まえた支援を行いました。

地域福祉推進協議会役員研修会・事務説明会の開催

開催日：令和5年3月24日（金）

内 容：『地域支えあい事業をやってみて～「ありがとう」と言われて～』

講師 小幡北学区地域福祉推進協議会前会長 原 彰 氏

・助成金精算・申請にかかる事務説明

2 名古屋市地域支えあい事業の推進（名古屋市受託事業）

守山区では5学区の推進協が、高齢者や障がい者、子育て世代等住民のちょっとした困りごとの相談を受け付け、ご近所同士の助けあいによって困りごとの解決を図るなど、地域のつながりづくりを進めました。

また、学区単位で行う「活動連絡会議」などを通じて、住民や専門職などが地域の福祉課題やその解決に向けて話し合いが行われました。

学区担当職員が実施学区へ訪問し、本事業の活動を支援しました。

実施学区	登録ボランティア数	活動延人数	ボランティアポイント数	生活支援の主な内容
本地丘	28 名	741 名	3,062 P	話し相手・外出支援・買い物・認知症高齢者の見守り等
吉根	38 名	225 名	730 P	外出支援、庭木の剪定・草取り等
白沢	47 名	629 名	4,829 P	掃除、小修繕、掃除、庭木の剪定・草取り等
大森北	47 名	693 名	2,315 P	掃除、小修繕、庭木の剪定・草取り等
小幡北	61 名	505 名	1,419 P	掃除、ごみ出し、小修繕、買い物支援、庭木の剪定・草取り等

※ボランティアポイント…学区で認定された支えあいボランティア活動によって付与、ポイントは現金に換算され（1P=10 円）、推進協等へ還元されます。



助けあい活動
枝切り（吉根学区）



助けあい活動
網戸の張り替え
（小幡北学区）



学区相談窓口
（本地丘学区）



協議の場・活動連絡会議（大森北学区）



協議の場・活動連絡会議（白沢学区）

<守山区地域支えあい事業研修交流会>

【研修名】令和4年度 守山区地域支えあい事業研修交流会

【開催日】令和4年7月25日（月）

【参加者】16名（事業実施5学区のご近所ボランティアコーディネーター等と生活支援ボランティア「まごの手」メンバー）

【内 容】講話『重層的支援体制整備事業について』名古屋市守山区社会福祉協議会 事務局次長 野々部智美より説明しました。その後、小グループに分かれて各学区の実施状況などの情報交換を行いました。



交流会の様子

【研修名】地域福祉のすゝめ

【開催日】令和4年10月25日（火）

【参加対象者】①地域福祉推進協議会構成員

②ふれあい・いきいきサロン活動実践者

③地域福祉活動の実践者、地域福祉活動に興味関心がある方

【内 容】『多様なつながりを生かした地域の支えあい』の内容を、関西学院大学 人間福祉学部 柴田学先生より講演いただきました。

その後、中村区日比津学区地域福祉推進協議会会長・熱田区大宝学区八幡社ふれあいサロン代表・西区南部いきいき支援センター見守り支援員の方々より実践状況をご報告いただきました。

【研修名】令和4年度「傾聴ボランティア養成講座」×「守山区地域支えあい事業 実施学区ボランティア養成講座」

【開催日】令和4年10月31日（月）

【参加対象者】ご近所ボランティアコーディネーター他

【内 容】「コミュニケーションスキルアップ講座講義」

とし、「相手の気持ちに寄り添った聴き方を探る」内容を、南山大学 人文学部 心理人間学科 土屋耕治先生より講演いただきました。また、ロールプレイ（役割演技）を通じた演習も行い、傾聴スキルの向上を目指しました。



講座の様子

【研修名】ご近所ボランティアコーディネーター交流会

【開催日】令和4年11月30日（水）

【参加対象者】名古屋市内各区のご近所ボランティアコーディネーター

【内 容】地域支えあい事業ご近所ボランティアコーディネーターによる情報交換会実施。4つのテーマにグループ分けをし、情報交換を行いました。

3 「ふれあい・いきいきサロン」の推進及び、生活支援の仕組みづくり検討

地域の住民同士のつながりや仲間づくり、地域の生活課題への気づきや身近な相談拠点ともなり得るサロン（たまり場）づくりの支援を、財政面も含め行いました。

また、新型コロナウイルスの影響が続く中、3年ぶりにサロン運営者連絡会を開催しました。

サロン運営者から「サロン中止の間も仲間との連絡を絶やさないようにした」「感染対策に努めて開催している」「参加者の趣味や特技を生かして

サロンで発表してもらっている」「コロナ禍の2年で状況が変わった。サロン中止の間、出かける先が減り体力が低下、参加できなくなった人もいる。出かける先があるのは大切なこと。」といった声がきかれた。



サロン運営者連絡会

さらに、コロナ禍におけるボランティア活動の幅を広げるきっかけにしようと、サロン運営者をはじめとしたボランティアを対象に、「スマートフォン体験講座」と「Zoom 体験講座」を開催しました。

(1) 新設サロン

名 称	実施学区
フレイル追い出し若返りサロン	森孝東
ボッチャにこにこサロン	吉根
AM AM (あむあむ) サロン	森孝西
ボッチャサロン廿軒家	廿軒家
Peek-a-boo! (ピーカブー)	瀬古
幸齢者グラウンド・ゴルフサロン	吉根

(2) 本会運営のサロン

愛知県健康づくりリーダーと連携し、本会及びコープ小幡店の2会場で「わいわいサロン」を実施する計画でしたが、新型コロナウイルスの影響でコープ会場での開催は中止となり、本会会場でのみ開催しました。

実施会場	実施回数	延べ参加者数
本会研修室	11回	153名

(3) 生活支援専門部会の開催

将来の地域相談機能の拠点となり得る、地域交流の場としてのサロンの拡充・基盤づくりや、生活支援活動を行うボランティア支援等について、関係機関や地域住民、行政等と検討する部会を年3回開催しました。



生活支援専門部会の様子

開催日	〈検討・実践・報告〉内容	参加者数
5月20日	- 令和4年度事業計画（案）について - 出張講座・地域座談会について - マッチングの仕組みづくりについて	18名
9月14日	- 令和4年度事業計画について 〈グループワーク〉 - 出張講座・地域座談会について - マッチングの仕組みづくりについて	19名
3月8日	- 令和4年度事業進捗について - 出張講座・地域座談会について - 在宅療養について出張講座・座談会の報告等 - 令和5年度出張講座メニュー（案）	17名

(4) サロン運営者、ボランティアを対象とした講座を開催

開催日	Zoom 体験講座	スマホ体験講座	参加者数
8月8日	7名	16名	計23名



ZOOM 体験講座



スマートフォン
体験講座（音声入力体験）

4 「高齢者はつつ長寿推進事業」の実施（名古屋市受託事業）

市内にお住まいの65歳以上の高齢者を対象に、健康増進活動やレク、脳トレ、創作などを行い、仲間づくり・介護・認知症予防やフレイル対策への理解を促し、社会参加促進を目的としてサポーターさんのご協力のもと週4日、区内8会場で実施をしています。

昨年に続き令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者の安全と健康を最優先に考慮し、名古屋市からの指示のもと、消毒・換気対策の他、密集・密接を避けるため、実施時間の短縮、狭小会場は二部制に分け参加人数を半分にしています。



《ボッチャ部の様子》
令和4年度10月
より活動開始。

【実施状況】※…コロナ対策の為、二部制にして実施した会場

学 区	会 場	事業 開始日	実施 曜日	参加登録者数		年間延べ 参加者数
				前期	後期	
白 沢	川嶋神社会館	平成18年 10月2日	月	25 名	25 名	902 名
廿軒家	廿軒家会館 ※			26 名	25 名	967 名
森孝西	森孝西コミセン ※	平成18年 10月4日	水	26 名	25 名	1043 名
小幡北	小幡北コミセン			12 名	12 名	396 名
志段味東	志段味東コミセン	平成18年 10月5日	木	23 名	23 名	699 名
苗 代	本会研修室 ※			25 名	25 名	967 名
瀬 古	平成会館	平成18年 10月6日	金	22 名	26 名	905 名
大森北	大森北コミセン※			20 名	22 名	658 名
合 計				179 名	183 名	6,537 名



高校生によるスマホ教室



外部講師による
フレイルチェック



難民家族へ寄付を目的
とした交流会

5 「守山区人権尊重のまちづくり事業」の実施（守山区受託事業）

区民一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見のない「人間性豊かなまち・守山」の実現を目指した本事業を守山区から受託実施しました。

令和4年度は、人権講演会「命の参観日 36人の母になってみえた世界」を開催。アジア地域の留学生36人のホストマザーの経験から得られた「多文化共生」、「異文化理解」に大切なことをお話いただきました。

【開催日】令和5年2月13日

【会 場】守山区役所講堂

【講 師】玉城 ちはるさん



講演会の中での
やさしさ貯金ゲーム
の様子

6 各種事業の後援、協力

社会福祉に関する団体等が実施する、広く区民の社会福祉の増進や啓発に資する事業に対し、後援や協力を行いました。

（1）後援

事業名	実施日	主催	内容
令和4年度保育まつり	11月11日	守山区 保育協会	守山区内の全保育園年長児が一堂に集まり、一人ひとりが年長児として大きくなったことを自覚し、小学校に入学することの期待を持たせるとともに、保育園相互の親睦を図る。

（2）協力

事業名	実施日	主催	内容
わやくちゃサミット 2022	11月27日	わやくちゃ サミット 2022 実行委員会	地域共生社会の実現につなげるため、地域の各種団体が分野を超えて集まり、交流を深めながら、地域住民が世代や障がいの有無を超えて楽しみ、つながりをつくるイベント。

7 守山にこにこ福祉マルシェの開催

コロナ禍で販売機会が減少した区内障がい者福祉施設を応援するため、守山区ボランティア連絡協議会・守山区役所と共催して授産製品販売会「守山にこにこ福祉マルシェ」を開催し、多くのお客様にご来場いただきました。

開催日	来場者
8月3日	200人
11月12日	500人
2月3日	300人
合 計	1,000人



守山にこにこ福祉マルシェ

8 各種福祉関係団体への支援・助成等

共同募金配分金を財源として、各団体が実施する事業に助成しました。

令和4年度においても新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業の中止や、例年とは異なる実施方法、代替事業を実施する団体がありました。

(1) 高齢者関係事業

① 老人クラブ事業

事 項	実施日・期間	会 場
さわやか健康づくり講習会	5月13日	志段味地区会館
趣味の作品展	5月～6月	守山区役所講堂
料理講習会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
友愛活動研修会	1月17日	区役所講堂

② 敬老行事事業

事 項	実施月	会 場
敬老祝品贈呈事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

(2) 児童関係事業

① 子ども会事業

事 項	実施日・月	会 場
子ども会活動支援	通年	—
オリエンテーリング大会	11月6日	愛知県森林公園
ソフトボール大会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
キャンプ講習会	8月26日～28日	定光寺野外活動センター
子ども会ノート作成	3月	区役所
子ども会PR事業		

② 保育園事業

事 項	実施日・期間	会 場
保育園児プラネタリウム見学	6月～7月	名古屋市科学館
保育まつり	11月11日	区役所講堂
保育園卒園式祝電	3月	区内保育園

③ 留守家庭児童健全育成事業

事 項	実施期間	会 場
学童保育所への図書カード等贈呈	3 月	—

(3) 障がい児(者)関係事業

事 項	実施日	会 場
バスハイク	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
親子交流会		
クリスマス会	1 2 月 1 1 日	区役所講堂
卒業生を祝う会	2 月	養護学校始め区内小・中学校

(4) その他事業

事 項	実施期間	会 場	備 考
社会を明るくする運動	6 月～1 2 月	—	保護区保護司会
更生保護施設の草取り ・花植え事業	通年	—	更生保護女性会
ふれあいサロン啓事業	通年	愛知自啓会集会室	更生保護女性会
元気まつり守山	9 月 2 5 日	三菱電機守山グラウンド	区民まつり実行委員会
グループ活動発表会	1 1 月～1 2 月	区役所講堂	地域女性団体連絡協議会
もりやまっこ子育て広場	1 1 月 1 日	スポーツセンター	子育て支援ネットワーク 事業守山チーム

5 ボランティア給食サービス事業

* 昭和 5 1 年度から開始

1 配食サービスによる見守り活動 等

民生委員や給食ボランティア等と連携し、ひとり暮らし高齢者等へ昼食用弁当を配食しました。

手渡しによる配食により、安否確認を始め、生活上の困りごと等の把握・解決に努めました。

また、例年 1 2 月に配達している手づくりおせち弁当の代わりに「年末特別弁当」と題して業者弁当を配達しました。

(1) 「昼食用弁当」等実績

① 配食方式

ア 本会主催 ※「利用者数」は、3 月時点の利用者数。

項目	員数	備考
利用者数	1 4 6 名	<配食日> 志段味地区 週 1 回 (水) 上記以外 週 2 回 (火・木) ※小幡、守山、西城、瀬古、下志段味、上志段味学区を除く。 <業者> 日本ケータリング (株) ヤクルト東海 (株)
年間配食数	1 0, 8 1 1 食	



配食による声掛けと見守り活動

イ 学区福祉推進協議会主催 ※月1回以上実施学区。 (順不同)

学区	年間配食数	備考
白沢	352食	月2回(尾張荘弁当)
志段味東	—	月1回(手作り弁当)※コロナのため中止

② 会食方式 ※学区地域福祉推進協議会主催で月1回以上実施学区。 (順不同)

学区	年間提供数	備考
瀬古	629食	月2回
大森北	—	月1回※コロナのため中止

(2) 「年末特別弁当」配食実績

実施日 12月21日(水) / 22日(木) / 27日(火)

※年内最後の配食日に実施

※本地丘のみ社協最終営業日に実施

配食数 254食

(内訳) 火・木 実施学区 241食

水 実施学区 13食



年末特別弁当

(3) ボランティア数(令和5年3月末現在)

337名

(4) その他

① かわら版の発行(配食予定表) 年12回

② ボランティアだよりの発行 年1回

③ エコキャップ運動 年12回

※ ペットボトルのキャップを回収し、その売却益を世界の途上国の子どもたちへのワクチンとして届ける運動。本会では、ボランティアの協力のもと、集まったキャップを仕分けし、受入業者へ納品しています。



エコキャップ隊の活動

2 企画委員会等の開催

事業の円滑な運営と活動の質を向上させるために、給食ボランティア企画委員会を毎月開催するとともに、運転・添乗・仕分けボランティア打合会・研修会を二部制にして開催しました。調理実習は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止しました。

■開催状況

事項	開催日	場所
企画委員会	毎月第1木曜日	アクロス小幡共用会議室
運転・添乗・仕分け ボランティア等打合せ	4月20日 10月19日	研修室
連絡員等打合せ	4月20日	研修室
	7月20日	
	10月19日	
	2月15日	
年末特別弁当配食 (手作りおせち弁当代替)	12月21日 12月22日 12月27日	給食実施学区
調理実習	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
給食ボランティア研修会	7月20日	研修室

6 ボランティア活動

1 ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターの運営を通し、ボランティア活動に関する相談、情報提供及び地域住民や福祉施設などからのボランティア派遣の依頼に対して、需給調整を行いました。

(1) ボランティア活動の需給調整 需給調整件数 213件

〈内訳〉

相談（依頼）者		内 容	
個人（本人）	200件	地域（在宅）生活支援	176件
社協内他部署	2件	見守り・話し相手・孤立防止	9件
福祉施設等	4件	移動・外出	8件
地域住民・団体	7件	社会参加・交流	0件
その他	0件	趣味・教養	0件
		施設ボラ運営系	3件
		施設ボラ披露系	4件
		その他	13件

(2) 登録ボランティア数

グループ・団体数	76団体
個人登録者数	42名

2 「守山区ボランティア連絡協議会」との連携

守山区におけるボランティア団体の連絡組織である「守山区ボランティア連絡協議会」（18団体で構成）と連携し、ボランティア同士の交流を通じたスキルアップや新たな仲間づくりからの担い手増等を目的とした、「ボランティア養成講座」や「ボランティアのつどい」を開催しました。

(1) ボランティア養成講座

事 項	実施日・期間	場 所	参加者	備 考
やってみよう！手話 (全12回)	5月12日～ 7月28日	本会 研修室	5名	
傾聴ボランティア養成講座	(1)10月31日 (2)11月7日 (3)11月14日～ 30日	(1)～(2)本会 研修室 (3)デイサービス湯～楽	21名	
ハンドクラフトサポーター 養成講座	11月25日 12月 7日	本会 研修室	15名	
夏休みボランティア一日体験講座 読み聞かせ体験じぶんで読んでみよう！	8月26日 中止	本会 研修室	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
点字教室 (全12回)	中止			



やってみよう！手話



ハンドクラフトサポーター
養成講座

(2) ボランティアのつどい

開催日	備 考
11月15日	一般社団法人あそしあるによる社交ダンスの披露と タンゴのリズムにあわせて行う健康体操



リズムにあわせて健康体操

(3) ボランティア保険の取扱い

種別	延べ加入件数	延べ加入人数
ボランティア活動保険	101件	1749名
ボランティア行事用保険	208件	11,108名

3 障がい者団体や小・中学校・高校と連携した福祉教育の推進

ボランティアや障がい者団体等との協力のもと、区内小・中学校における車いす、手話、視覚障害、発達障害等の体験学習に協力しました。

また、名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンターの指導に基づき、感染症対策チェックシート等を活用し、感染予防に細心の注意を払い実施しました。

(1) 区内小学校・中学校 8件6校（小学校5校 中学校1校）

内、2校資材のみ貸出

(2) 区内企業・個人等 1件（資材のみ貸出）

実施日	学校名	対象	人数	内容	協力
9月8日	小幡北小	5年生	52名	視覚障がい者お話し会 (瀬古マザー園)	当事者講師2名 職員3名
9月14日	小幡北小	5年生	52名	車いす当事者お話し会 車いす体験	当事者講師1名 車いす指導2名
9月16日	大森小	5年生	52名	高齢者疑似体験 認知症サポート養成講座	疑似体験講師1名 東部いきいき職員2名 サポート職員4名
9月30日	大森小	5年生	52名	車いす当事者お話し会	当事者講師1名 職員1名
11月14日	瀬古小	5年生	52名	手話体験 高齢者疑似体験 視覚障がい者お話し会	手話講師3名通訳3名 疑似体験講師1名 当事者講師1名 サポート職員2名
1月24日	吉根中	全学年	防災活動 全学年	高齢者疑似体験セット 資材のみ貸出	
1月24日	個人	-	-		
3/3～3/7	二城小	5年生	不明		
12月15日	守山北中	2年生	152名	手話体験とお話し会	手話講師4名通訳4名



守山北中 手話体験学習



小幡北小 視覚障がい者お話し会



大森小 高齢者疑似体験

4 耐震留具取付サービス事業 *平成17年度から開始

ひとり暮らし高齢者のいる世帯や障がい者のいる世帯等を対象に、地震に備えた家具耐震留具の取り付けを「防災ボラネット守山」と連携し実施しました。

【実施期間】 令和4年7月～令和5年3月

【施工件数】 42件（施工累計件数870件）



耐震留具取付作業の様子

7 重層的支援体制整備事業

(1)モデル事業実施に向けた準備業務開始

重層的支援体制整備事業は国が創設した事業で、既存の相談支援や地域づくり支援の取り組みを活かし、介護、障害、子ども、生活困窮といった分野別の支援体制では対応しきれないような地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施します。

本会と市社会福祉協議会のコンソーシアムにおいて、プロポーザルにより名古屋市より「地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業」の受託が決定。

令和4年10月からモデル事業実施に向けた準備業務を開始しました。

(2)包括的相談支援チームの配置

名古屋市においては、相談支援機関どうしの連携の支援や課題を抱えた世帯へ継続的に訪問し伴走支援を行う「包括的相談支援チーム」（社会福祉士、精神保健福祉士の資格を保有する専門職員等）を行政区ごとに配置することとしています。

本会においては、令和4年度から新たに相談支援担当次長を配置。事業受託決定後は専門職である包括的相談支援スタッフ1名を加え、今後、市の仕様書に基づき包括的相談支援チームの人員体制を整備していきます。

＜実施状況・対応件数＞

令和4年10月～ モデル実施に向けた準備業務開始

	多機関協働	アウトリーチ	参加支援等
ケース数 (3月末時点)	2（終結1）	1	0

対応実績	ケース対応		地域づくり支援
	電話・メール	訪問・面談	
本人・家族	29回	9回	59回
関係機関等	31回	43回	

(3)食料支援の実施

一時的に生活困窮者になり、生活を圧迫し食糧が得られない緊急を要する世帯に対し、社会福祉協議会にて備蓄してある食糧や、寄付などで集まった食糧・生活用品等を生活困窮者の現状を聞き取りながら、適宜提供支援しました。

あわせて、対象者の状況により、セカンドハーベストによる食料支援も年度3回を限度に活用。(生活保護や貸付中、慢性的困窮者の方は対象外とする。)

社会福祉協議会、東部いきいき支援センター、包括的相談支援チームが互いに情報を共有しながら、臨機応変に対応しました。

8 在宅福祉関係事業

1 通所介護事業（デイサービスセンター）の運営

運営にあたっては、利用者が安全で安心できる心地よいサービスを提供することに努めました。特に、利用者の身体機能の維持・向上とそれに伴う介護者の負担軽減につながるプログラムを積極的に取り入れ実施いたしました。

コロナウイルスがインフルエンザと同じ5類相当の感染症扱いになりますが、今後も消毒の徹底、デスクパーテーションの配置、デイルーム内と送迎車にオゾン発生器を設置など引き続き実施していきます。

■利用状況

	営業 日数 (日)	実利用 人員 (名)	延利用人数 (名)	内 訳		一日 平均人数 (名)
				要支援	要介護	
令和4年度	307	545	5,184	623	4,558	16.9
令和3年度	297	595	5,426	824	4,602	18.2
増 減	10	▲50	▲242	▲201	▲44	▲1.3



機能訓練の様子



たこ焼きパーティの様子

2 市社会福祉協議会「守山区介護保険事業所」事業への協力

(1) 居宅介護支援事業（令和5年3月の月間実績）

ケアプラン作成総件数	227件 (予防給付ケアプラン 66件含む)
------------	---------------------------



ケアマネのキャラクター「まねにゃん」

【主な活動】

- ・高齢者いきいき相談室（いきいき支援Cブランチ型相談室）相談件数24件
- ・「はち丸ネットワーク」（情報連携システム〔医療と介護の連携〕）へ参画
- ・他法人との共同事例検討会参加（他 キャリアパス研修等実施）など

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、変更や中止の研修等あり

(2) なごやかヘルプ（訪問介護）事業（令和5年3月の月間実績）

【提供サービス】

- ① 介護保険制度における訪問介護事業
- ② 障害者自立支援法における指定居宅介護事業
- ③ 家事介護サービス事業
- ④ 養育支援ヘルプ事業
- ⑤ 生活応援サービス事業

なごやかスタッフ 登録者数	56名
------------------	-----

お客様の人数		205名
内 訳	① 介護保険（介護給付）	69名
	① 介護保険（予防給付）	54名
	② 自立支援法	61名
	③ ④ 措置等	10名
	⑤ 生活応援サービス事業	11名

【主な活動】

- ・初任者研修 実習生受入れ
- ・市社会福祉研修センター初任者研修等講師補助
- ・なごやかスタッフ研修 年14回開催
（内容：倫理・感染症・認知症・身体介護他）
※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、集合形式の他、書面で開催
- ・なごやかスタッフサロン交流会
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・サービス提供責任者キャリアパス研修
- ・なごやかスタッフ退職者による「OG会」
ボランティア啓発事業
（内容）外出ボランティア、社協実習生へ
在宅支援体験伝達、ライ麦企画参加等



なごやかスタッフ表彰式

3 市社会福祉協議会「守山区東部いきいき支援センター」事業への協力

(1) 総合相談受付実績

高齢者に関する様々な相談を受けとめ、適切な機関・制度・サービスへつなぐ等、課題解決に向けた継続的な支援を行いました。

分 類	実件数	延べ件数
虐待相談	1 2 件	1 1 7 件
権利擁護関係	3 件	1 2 件
消費者被害関係	0 件	0 件
健康・福祉・介護等関係	2, 0 0 5 件	6, 7 9 8 件
合 計	2, 0 2 0 件	6, 9 2 7 件

※その他出張相談実施 1 2 回実施

(2) 認知症の方にやさしいまちづくりに向けた事業の実施

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民への認知症に関する普及啓発を進める他、認知症の人やその家族が社会参加できる場づくりや社会基盤の整備を行いました。

事 項	実施日等	人 数	内 容 等
認知症サポーター 向け情報誌発行	年 2 回	延べ 7 1 8 名	サポーター活動の充実とスキルアップのための情報紙
認知症サポーター フォローアップ 講座	8 月 2 日	2 2 名	・認知症相談支援センター 所長 山口喜樹様 ・当事者の会「出会いの会」 サポーター同士の交流や情報交換の 場を設け、活動に必要な意欲や知識 の定着を図る事を目指し開催
	1 月 20 日	2 0 名	・講話 「認知症の人の理解について」 ライフケアみおつくし 吉川浩三様 ・寸劇 「こんな時はどうしたら？」 ツクイ名古屋守山 横山祐志様 講話と寸劇の参加を通して、認知症 の人への接し方について学ぶ。
認知症サポーター 養成講座	年 22 回	延べ 3 8 1 名	(対象) 一般市民、小学生、中学 生、高校生、大学生、行政 等
守山区 キャラバンメイト 連絡会	①5 月 24 日 ②11 月 21 日 ③3 月 17 日	延べ 3 6 名 (内、キャラ バンメイ ト 17 名)	認知症サポーター養成講座の質向上 に向けたキャラバンメイト同士の情 報共有
守山区 認知症カフェ 運営者連絡会	①6 月 15 日 ②11 月 14 日 ③2 月 3 日	①12 名 ② 8 名 ③70 名 (③はイベ ント全参加 者 70 名)	第 1 回と第 2 回は、カフェの運営状 況などの情報共有等 第 3 回は拡大版認知症カフェとして、 「にこにこマルシェ」に出店。カフ ェを体感すると同時に絵本朗読や寸 劇を通じて認知症の理解を図った。

出合いの会	年 12 回	延べ 137 名 (内、本人は 延べ 54 名)	認知症の当事者の交流会
認知症講演会	10 月 28 日	1 1 5 名	映画「徘徊ママリン 8 7 歳の夏」



認知症講演会 映画上映
『徘徊ママリン 87 歳の夏』



認知症サポーター養成講座
守山区内の小学校へ出張！



認知症サポーターフォローアップ研修（8月）
当事者「出合いの会」がシンポジスト



認知症サポーターフォローアップ研修（1月）
寸劇を見て考えて、対応について考えました

お茶を飲みながら認知症の絵本朗読や寸劇鑑賞をし、声のかけ方などを学びました！



拡大版認知症カフェ（2月）
『にこにこ福祉マルシェ』（区社協）にて



介護予防の取り組み



ケアマネジャー勉強会



出張相談・広報関係

(3) 認知症の方を介護する家族への支援事業

事 項	実施日	人 数	内 容 等
家族教室	年 10 回	延べ 27 名	認知症の解説、支援制度の学習、認知症の方への関わり方の学習
家族サロン	年 12 回	延べ 56 名	家族介護者同士の悩み相談、情報交換の場、リフレッシュのための交流会
もの忘れ相談医による専門相談	年 12 回	延べ 21 名	守山区医師会より「もの忘れ相談医」を派遣

(4) 認知症初期集中支援チーム

チーム員会議	21 回
対応件数	17 件

(5) 介護支援専門員への支援とネットワークづくり

介護支援専門員が関係機関と連携できる環境を整えるとともに、介護支援専門員間のネットワークづくりや資質向上に向けた取組みを実施しました。

介護支援専門員のための社会資源ガイドブックの作成や、ひとりケアマネの会や主任ケアマネの会の立ち上げ支援などを行いました。

事 項	実施回数	人 数	内 容 等
ケアマネ勉強会	4 回	延べ 200 名	テーマ「免許返納について」「自立支援型個別地域ケア会議とは」「権利擁護（エンディングサポート事業）について」「認知症疾患医療センターとの連携・高齢者うつについて」
(自立支援型)事例検討会	4 回	延べ 110 名	「ガン末期」「糖尿病」のテーマで事例検討会を行った。また自立支援型事例検討として、普遍的なケースを検討し、ケアマネを含む多職種の学びの場となった。
自立支援型個別地域ケア会議	1 回	40 名	本地丘学区の民生委員とケアマネ連絡会も兼ねて実施。本人の「したいこと」「望む暮らし」を実現するためにどのようなアプローチが必要か、自立支援に向けたケアマネジメントのサポートを行った。また、区役所や専門職が参加し、幅広い意見交換を行った。

※この他、守山区西部いきいき支援センターとともに、勉強会などを実施しました。



ケアマネ勉強会



自立支援型個別地域ケア会議



社会資源
ガイドブック

(6) 介護予防の取り組み

幅広い年代層の地域住民を対象に運動習慣の動機づけを目的とした、介護予防教室「いきいきイオン」は、2部制により実施をしました。

介護予防対象者に対し「いきいき通信」を発行し、クイズに回答をする際には返信封筒により、介護予防についてや困りごと等を相談していただく機会となっています。

(7) 高齢者の見守り支援

ひとり暮らしの高齢者などが孤立状態に陥らないよう、地域における見守り活動を支援することを目的として取り組みました。

「いきいきコール」では、ボランティアと協力し電話訪問活動を行いました。

① 見守り支援事業相談・通報件数

相談者 通報者	本人	民生委員	サービス 事業者	区役所	その他	合計
件数	1件	3件	0件	1件	9件	14件

② 電話訪問「いきいきコール」の実施状況

コールボランティア登録人数	5名
電話訪問利用者実人数	24名
電話訪問実施延回数	908回

③ 「つながりづくり」協力者の開拓

地域での住民同士のつながりが希薄である今、地域での見守り体制が必要です。

そのことを周知するために作成した

「3つのかけるでつながろう」のチラシとポスター掲示を7店舗に、ご協力をお願いしました。

いきいき支援センターの役割や見守り支援事業についても知っていただく機会となりました。



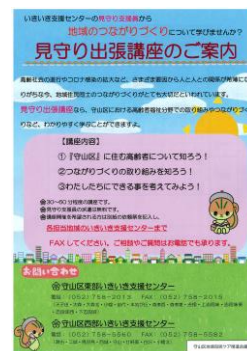
④ 見守り支援事業者との連携協定（見守りあんしんプラス）

名古屋市中日会守山支部と東西いきいき支援センターが協定を結び、センターが把握する見守り対象者の一部の方に対して、区内の中日新聞販売店が新聞配達ルートの中で安否確認を行いました。

対象者（区内総数）	7人
-----------	----

⑤ 見守り出張講座

守山区東西いきいき支援センターが合同で、見守り出張講座の資料を作成しました。サロンなど地域住民の方が集まる場所に、見守り支援員が出張し、守山区における高齢者福祉分野での取り組みやつながりづくりなど、わかりやすく学ぶことができる内容となっています。



(8) 指定介護予防支援事業

給付管理数	12,514件
-------	---------

4 車椅子 貸し出し事業

学校等での体験学習や外出等で一時的に必要とされる方に、原則7日を限度として車椅子の貸し出しを行いました。

椅子貸出し件数	28件
---------	-----

9 生活福祉資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会と協力し、経済的な自立や在宅福祉の向上を図るための資金貸付事業を行いました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響による休業や失業により生活にお困りの方を対象とした特例貸付事業は、令和4年9月末で終了しました。

〈貸付相談・申請・決定件数〉

		貸付実績			
		相談 (件)	申請 (件)	決定 (件)	決定額 (円)
生活福祉資金	総合支援資金	31	0	0	0
	新型コロナ特例総合支援資金	696	115	110	63,100,000
	福祉資金 (福祉費)	51	5	4	468,000
	福祉資金 (緊急小口資金)	34	1	1	100,000
	新型コロナ特例緊急小口資金	597	147	131	26,000,000
	教育支援資金	13	3	2	5,288,000
	不動産担保型	5	0	0	0
	(小計)	1,427	271	248	94,956,000
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0
合 計		3,964	1,427	271	248

10 心配ごと相談事業

*昭和25年度から開始

法律や行政等の専門家が、日常生活での困りごとや悩みなどの相談を受ける「心配ごと相談事業」と、国で定める人権擁護相談及び行政相談とも連携し、毎月第2・第4木曜日に3相談事業（窓口）を同時に開設しました。

令和4年度は、「元気まつり」での出張相談会も実施しました。

また、緊急事態宣言またはまん延防止等重点措置期間中の相談窓口開設を中止したことにより、実施日数が例年より減少しました。それにより、相談件数も前年度よりやや減少しました。

しかし、相談時間は増加しており、より一層、1人ひとりの相談に丁寧に対応していただきました。



「心配ごと相談員研究会」
保護司を取り巻く現況

- 【実施日時】 毎週木曜日 13時から16時
- 【実施日数】 47日（前年度比+24日）
- 【相談件数】 35件（前年度比+20件）
- 【相談時間】 平均83分／1回
- 【相談員数】 11名（他に、人権擁護委員5名・行政相談委員2名）

11 在宅サービスセンターの運営

区内で活動する福祉団体やボランティア団体へ研修室や会議室、調理実習室等を貸し出しました。

また、ボランティア連絡協議会をはじめ、各種ボランティア団体、地域住民とともに下記の事業に取り組みました。

■年間利用状況

事 項	研修室	ボランティア ルーム	録音室	点訳室	調理実習室	合 計
延利用団体数	275 団体	233 団体	58 団体	95 団体	246 団体	907 団体
延利用者数	3,562 名	1,648 名	174 名	160 名	1,095 名	6,639 名

■実施事業（本会主催の定例実施事業）

事業名	開催日	会 場 等
わいわいサロン（体操）	毎月第2金曜日	研修室
事業名	開催日	会 場 等
声の図書・録音テープ貸出し	毎月第2土曜日	ロビー
子ども点字教室	毎月第2土曜日	相談室
折り紙を楽しむ会	毎月第2土曜日	ボランティアルーム
手芸広場	毎月第4土曜日	ボランティアルーム
おもちゃ病院	毎月第4土曜日	ロビー
健康もりモリッス体操クラブ	毎月第4土曜日	研修室
みんなでうたいましょう	月1回	新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止

1 2 児童館・福祉会館の管理運営

守山児童館
キャラクター
「ハニット」



1 守山児童館の管理運営

児童厚生施設である守山児童館の指定管理者

(令和2年度～令和6年度)として、本会が管理運営を行いました。令和4年度は、愛知県下に緊急事態宣言こそ発令されませんでしたが、「厳重警戒」での感染防止対策が呼びかけられました。その間、児童館事業としては、感染拡大に留意しながらイベントを分散式で行ったり、参加者を申込制にしたりして、工夫を凝らし通常通り実施しました。

【主な事業】

(1) 幼児・子育て家庭を支援する事業

①前・後期クラブ活動の実施

親子体操、リトミック、英語 de あそぼう、つくってあそぼうクラブを開催し、子どもの成長と親同士の仲間づくりを進めました。

②移動児童館の開催

志段味地区会館(10回)守山生涯学習センター(2回)大森会館(1回)で開催。

③<新規>おはなしであそぼう「守山・しだみレモンプロジェクト」への協力

「モリスちゃんの冒険」を大型絵本で読み聞かせをしました。

④<新規>バランスボールエクササイズ

子どもではなく「自分のための時間」を持つことで、ストレス発散につなげました。

⑤<新規>企業との協働事業(子育て中の方等を対象としたセミナーの開催)

管理栄養士等による「離乳食の進め方」「離乳食から幼児食へ」のお話。

⑥スターペアレンティング(758キッズステーション、守山区役所共催事業)

居心地の良い親子関係や楽しみながら子育てをする方法を学びました。

(2) 子ども(児童等)の主体性などを育む事業

①前期・後期クラブ活動の実施

将棋、囲碁、オセロ、工作、卓球クラブを開催し、より専門的な能力の向上と遠距離でも参加できるよう、土・日曜日に開催しました。

②こどものまち

企画・運営を通じて、社会の仕組みや働くことの意味を学び、創造性や協調性を培い、達成感を得ました。

③4コマまんがコンテスト

テーマを決めず、自由な発想で4コマまんがを描きました。

④ハニット畑

「何を植えるか」から子ども達で話し合い、協調性や責任感を育びました。

⑤<新規>科学実験教室

科学の楽しさを知り、「どうしてこうなるのか」を理解した上で、科学を応用した作品等を制作することができました。

(3) 中学・高校生を応援する事業

① 中高生専用の時間帯として「ナイター児童館★フレンドリータイム」の開催
(毎週金曜日 17:00~20:00)

中高生の利用促進と家・学校以外の第3の居場所づくりを実施しました。

② 勉強・宿題お助け隊 (毎週金曜日 18:00~19:00)

ナイター児童館開催時に、地域のボランティアによる勉強会を開催しました。

③ 中学生の学習支援・高校世代への学習・相談支援

(火・水曜日 18:15~20:15)

生活困窮者・ひとり親の家庭を対象に、貧困の連鎖を断ち切り、自己実現を目指しました。

④ 小中高生卓球大会

日頃の練習の成果を発揮し、負けても更なる努力を培いました。

(4) 新しい生活スタイルに対応する事業

① Instagramの開設

家庭で楽しめる創作活動のヒントや事業の様子などを発信することで、親子のコミュニケーションが深まることを支援しました。

② 密集・密接を避けるため映像を活用した事業展開

Xmasで3密を避けるためサンタの登場を中止し、二次元コードをスマートフォンで読み取ると職員が編集したサンタの映像が流れる形としました。



バランスボールエクササイズ



おはなしであそぼう
「守山・しだみレモンプロジェクト」



ハニット畑



ナイター児童館★フレンドリータイム

2 守山福社会館の管理運営

本会は老人福祉施設の指定管理者（令和2年度～令和6年度）として、令和4年度の守山福社会館にかかる管理運営を行いました。新型コロナウイルス感染確認から3年目に入るなか、引き続き感染防止に取り組みながら実施した事業、及び感染リスクに鑑み中止した事業は以下のとおりです。



1 実施した事業

- (1) 1年及び半年をサイクルに「趣味の講座」として、「やさしい書道」をはじめ12講座を開催
- (2) 月替わりの単発講座として、運動系の「体操 de 元気プログラム」及び文化系講座を開催
- (3) 整形外科医及び内科医による月1回ずつ開催の「健康相談」、並びに健康チェック・フレイルチェックを実施
- (4) 認知症予防事業として「認知症予防教室」「認知症予防リーダー養成講座」等を開催
- (5) 広報媒体である「福社会館たより」「公式ウェブサイト」「Instagram」を通じた情報発信
- (6) 中庭の一部を利用した菜園事業による収穫物を子ども食堂に提供
- (7) 囲碁・将棋の利用のため、毎日午後、囲碁将棋室を貸し出し（原則予約制）
- (8) 同好会等への部屋貸し及び同好会舞台発表会の開催支援
- (9) 認知症予防リーダーの活動支援として、「^{エム エム エヌ エス}守山まめなしMaMeNaSi」の開催やサロンへの人員派遣
- (10) 特に若年高齢者の利用促進のため、館内にフリーWi-Fi環境を構築

2 中止した事業

- (1) 卓球室・カラオケの利用
- (2) 入浴事業



「楽しいフラダンス」（趣味の講座）



認知症予防教室（わくわく教室）

13 共同募金運動への協力

1 赤い羽根共同募金運動（10月1日～12月31日）

【目標額】 10,411,000円

【実績額】 9,936,059円（前年度比 3,339,092円減）

※令和3年度は、区役所設置募金箱への匿名寄付による3,600,000円の受け入あり。

2 歳末たすけあい募金運動（12月1日～31日）

【目標額】 507,000円

【実績額】 450,887円（前年度比 46,083円減）

3 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール（書道・ポスター作品募集）

例年、区内の小・中学校生から応募のあった作品の中から優秀作品を選定し、「優秀」に選ばれた作品を本会広報紙及びホームページへ、「佳作」に選ばれた作品をホームページへ掲載しました。区役所講堂での作品展示は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止しました。

【応募数】

書道の部 … 1,359点

ポスターの部 … 226点

【学校からの推薦数】

書道の部 … 97点

ポスターの部 … 86点

【優秀・佳作点数】

書道の部 … 優秀：10点・佳作：10点

ポスターの部 … 優秀：10点・佳作：10点



令和4年度
名古屋市長賞受賞作品

4 街頭募金

地域福祉推進協議会等の地域関係団体やボランティアの協力により、区内各所で街頭募金を実施しました。

【回数】 2回

【実績額】 36,692円



アピタパワー新守山店での
街頭募金活動（瀬古学区）